

Ⅲ 健康増進課

1 健康づくり推進事業

(1) 「健康津軽 21」の推進

「健康津軽 21」の推進により、管内の早世の減少と健康寿命の延伸を図ると共に、「健康あおもり 21」の普及啓発に努め目標の実現をめざすもので、平成 20 年度津軽地域保健医療推進協議会で了解された「肥満予防」「喫煙予防」「自殺予防」を重点目標とし、津軽地域地域・職域保健連携推進事業等と協働しながら、会議・研修会等をとおして情報交換や周知を図った。

平成 24 年度に実施した最終評価では、目標値に達した又は改善傾向にある指標の割合は全体の 4 割となっており、分野別では「歯の健康」、「こころの健康づくり」、「たばこ」に改善傾向が見られたが、「身体活動・運動」、「循環器病」、「がん」等に関する項目については、依然横ばいや悪化と評価された。この最終評価を踏まえて、今年度を初年度とする「健康あおもり 21 (第 2 次)」が策定され、それに基づき当管内でも「健康津軽 21」次期計画を策定し、「管内市町村健康増進計画 (第 2 次)」と連動させながら推進を図っていく。

(2) 喫煙対策事業

喫煙は肺がんをはじめ多くの疾患の危険因子であり、喫煙者本人の健康被害だけでなく、受動喫煙により周囲の人へも健康被害を及ぼす。更に、次世代を担う未成年者や胎児にまで影響を与えることから、喫煙による健康被害に対する予防意識の普及啓発を図った。

ア 研修会・機会教育等実施状況

事業名	開催年月日	対象者・参加者	内容	講師
禁煙教室	平成 25 年 1 月 29 日 (火)	平成 24 年度定期 健康診断事後指導 (禁煙教室) 対象者 12 名	たばこと健康	弘前保健所 技師 柴田早紀

イ 公共施設等における禁煙・効果的な分煙の推進

事業名	対象等	内容
受動喫煙防止対策 推進のための事業所 訪問	飲食店、医療機関等	・「健康あおもり 21」における喫煙対策への 協力依頼 ・空気クリーン施設認証制度の PR ・禁煙への協力依頼
空気クリーン施設の 認証	新規登録施設数 9 件 累計 467 件	・適合施設の登録及び適合証の交付 ・ホームページへの掲載

ウ 広報活動

- ・ホームページの活用：空気クリーン施設、媒体紹介
- ・教育媒体の貸し出し：2 件（薬剤師会）
- ・市町村、教育機関、薬剤師会、飲食店、来所者等への受動喫煙防止に関するパンフレットの配布（計 350 部）

(3) 健康教養普及定着事業

県民自ら健康づくりに取り組み、健康的な生活習慣の実践ができるように、県民への健康意識を喚起し、健康教養の向上を図るため、その担い手となる人材を育成することを目的に、弘前市食生活改善推進員を対象に研修会を開催した。

○受講者数：16人（サポーター登録数：15人）

開催年月日	場 所	講 師	内 容
平成 25 年 2月 28日(木) 13:30～14:30	弘前市保健センター	社団法人青森県薬剤師会 衛生検査センター所長 川村 仁氏	<ul style="list-style-type: none"> ・青森県の現状について ・健康教養向上の必要性について ・教材（DVD）の使い方について ・健康教育を実施する際のポイント ・健康教養サポーターの登録制度

(4) 糖尿病地域診断機能強化推進事業

市町村の健康課題を明らかにし、地域の健康施策の企画評価に活用することを目的に実施した。

ア 特定健診等関連データ分析結果活用検討会の開催

- ・市町村健診データ（国保分）について地域診断ツールを用いて分析し活用を図るため、市町村職員を対象に検討会を実施した。

（内容）特定健診等関連データ分析結果の活用

開催年月日	場 所	講 師	出席者	出席市町村
平成 24 年 10月 9日(火) 13:30～16:00	黒石市役所	がん・生活習慣病対策課 主査 山田 淑子	18人	黒石市 平川市
平成 24 年 10月 10日(水) 9:30～12:00	西目屋村役場	弘前保健所健康増進課 技師 須藤 美希	6人	弘前市 西目屋村

イ 平成 22 年度特定健診状況データ分析（国保分）

- ・地域診断ツールを活用して、管内市町村の平成 22 年度特定健診データ（国保分）を取りまとめて分析整理し、がん・生活習慣病対策課及び市町村へ情報提供を行った。

(5) 市町村健康づくり活動への支援

市町村健康づくり推進協議会への参加

市町村	委員	委嘱期間	開催年月日	出席者	内 容
弘前市	オブザーバーとして出席		平成 24 年 6月 26日 (火)	山中所長	平成 23 年度事業報告、平成 24 年度事業計画案について
黒石市	所長	平成 23 年 4月 1日～ 平成 25 年 3月 31日	平成 24 年 6月 11日 (火)	山中所長 工藤主査	<ul style="list-style-type: none"> ①平成 23 年度事業実績 ②平成 24 年度事業計画 ③「健康黒石 21」二次計画について
平川市	所長	平成 25 年 3月 21日～ 平成 27 年 3月 20日	平成 25 年 3月 21日 (木)	山中所長 尾野技師	「健康ひらかわ 21」二次計画について
西目屋村	所長	平成 24 年 4月 1日～ 平成 26 年 1月 31日	平成 25 年 3月 28日 (木)	白戸課長 中村主査	<ul style="list-style-type: none"> ①健康西目屋 21 計画及び第 2 期特定健診実施計画 ②災害時要援護者支援について

市町村	委員	委嘱期間	開催年月日	出席者	内 容
藤崎町	所長	平成 24 年 8 月 1 日～ 平成 26 年 7 月 31	平成 24 年 9 月 26 日 (水)	山中所長 中村主査	「健康ふじさき 21」行動目標と具体的な目標値の評価について
			平成 25 年 2 月 1 日(金)	山中所長 尾野技師 福嶋専門 員	「健康ふじさき 21」二次計画の検討
			平成 25 年 3 月 22 日 (金)	山中所長 白戸課長 福嶋専門 員	「健康ふじさき 21」二次計画の検討
大鰐町	所長	平成 24 年 10 月 1 日～ 平成 26 年 9 月 30 日	平成 24 年 10 月 1 日 (月)	白戸課長 浪内主幹 須藤技師	23年度保健事業概要及び24年度保健事業計画について
			平成 25 年 2 月 20 日 (水)	山中所長 須藤技師	「健康おおわに 21」二次計画の検討
			平成 25 年 3 月 1 日(金)	須藤技師	「健康おおわに 21」二次計画の協議及び答申書提出
田舎館村	所長	平成 24 年 3 月 1 日～ 平成 26 年 2 月 28 日	平成 25 年 3 月 13 日 (水)	山中所長 柴田技師	「健康いなかだて 21」計画の協議
板柳町	名称「保健医療福祉計画策定委員会」において健康 21 計画を策定し委員会に諮問する。				

2 母子保健事業

(1) 母子保健地域力向上セミナー

「地域における未熟児支援」という共通テーマの下、中南地域県民局地域健康福祉部として児童相談所と共催で行い、地域保健関係者の資質の向上を図った。

開催年月日	場所	出席者	内容
平成 25 年 1 月 10 日 (木) 13:30～ 16:00	弘前市 総合学 習セン ター	管内市町村保健師 中南地域県民局健康福祉部 職員 22 人	1 行政説明 「弘前保健所における未熟児訪問実施 状況」 弘前保健所 技師 須藤美希 2 講演 テーマ：地域における未熟児支援 講 師：独立行政法人国立病院機構 弘前病院小児科部長 野村 由美子 氏 3 情報提供 「児童虐待について」 弘前児童相談所 主査 佐藤真由美

(2) 妊産婦支援体制整備事業

虐待の発生予防として、育児の孤立化、育児不安の軽減に努め、母子保健の側面から地域養育支援体制を整備することを目的とする。

ア 産後うつ病の予防対策推進事業

市町村及び医療機関に対し、産後うつ病質問票の普及を図り、併せて医師、児童相談所、市町村の児童福祉・母子保健関係者等関係機関との検討会を開催し、産後の抑うつ状態の早期発見を推進することを目的とする。

開催年月日	場所	出席者	内容
平成 24 年 4 月 18 日(水) 13:30～14:15	弘前 保健所	こども相談総室 保健総室 計 4 人	ケア会議 「医療機関から児童虐待通告のあった未 熟児の支援について (1 回目)」
平成 24 年 5 月 2 日(水) 9:00～10:00	弘前 保健所	こども相談総室 保健総室 計 4 人	ケア会議 「統合失調症未治療の母とその子どもた ちへの支援について (1 回目)」
平成 24 年 5 月 10 日(木) 9:00～10:00	弘前 保健所	こども相談総室 保健総室 計 4 人	ケア会議 「医療機関から児童虐待通告のあった未 熟児の支援について (2 回目)」
平成 24 年 5 月 28 日(月) 11:30～12:00	弘前 保健所	こども相談総室 保健総室 計 4 人	ケア会議 「統合失調症未治療の母とその子どもたち への支援について (2 回目)」
平成 24 年 5 月 29 日(火) 16:00～16:30	弘前 保健所	こども相談総室 保健総室 計 3 人	ケア会議 「統合失調症未治療の母とその子どもたち への支援について (3 回目)」
平成 24 年 6 月 7 日(木) 14:00～15:30	弘前 図書館	中学校、小学校、民生 委員、教育委員会、市 町村、こども相談総室、 保健総室 計 12 人	要保護児童対策地域協議会 「不安障害の母による関係機関への頻回な 迷惑行動及び子どもへの接し方に問題が あるケースへの支援について」
平成 24 年 6 月 19 日(火) 13:30～16:30	弘前市社 会福祉セ ンター	管内市町村保健師 弘前保健所保健師 計 32 人	E P D S の市町村・医療機関への普及 推進会議 ・平成 24 年度版として更新した「エジン バラ産後うつ病スクリーニングに係る 連絡窓口担当者名簿」を市町村へ配付 し、産後うつ病の予防や早期発見のため の活用について、働きかけた。
平成 24 年 12 月 21 日(金) 9:00～10:00	弘前児童 相談所	家族 こども相談総室 保健総室 計 5 人	ケア会議 「パーソナリティー障害疑いの母とその子 どもたちへの支援について」
平成 25 年 2 月 4 日(月) 13:30～14:40	黒石 市役所	小学校、教育委員会、 市町村、こども相談総 室、保健総室 計 13 人	要保護児童対策地域協議会 「パーソナリティー障害疑いの母とその子 どもたちへの支援について (2 回目)」
平成 25 年 2 月 27 日(水) 14:00～15:00	弘前 市役所	小学校、中学校、教育 委員会、市町村、こど も相談総室、保健総室 計 11 人	要保護児童対策地域協議会 「不登校が続く先天性疾患をもつ児童と精 神疾患治療歴が不確かな母への対応につ いて」

イ 母子保健ネットワーク会議

保健・医療・福祉及び教育等関係者等により、市町村や関係機関が実施する母子保健対策の推進に係る協議・検討・研修を行い、地域保健との関係機関の連携体制整備を進めることを目的とする。

※平成 24 年度は母子保健地域力向上セミナーと併催した。

(3) 未熟児訪問指導

未熟児は正常な新生児に比べて生理的に欠陥があり、疾病にもかかりやすく、その死亡率は極めて高率であるばかりでなく心身の障害を残すことも多いことから、未熟児の保護者に対する訪問指導を行う。

(単位：件数)

市町村	体重別	計	～999g	1,000g～ 1,499g	1,500g～ 1,999g	2,000g～ 2,499g	2,500g～
弘前市		31	1	8	9	10	3
黒石市		9	2		3	4	
平川市		6	1	1	1	2	1
西目屋村		1				1	
藤崎町		3		1		2	
大鱒町		2				2	
田舎館村		3		1	1	1	
板柳町		5			1	3	1
管内計		60	4	11	15	25	5
里帰り		13	2	1	5	5	
計		73	6	12	20	30	5

(4) 長期療養児療育指導事業

疾病により長期にわたり療育を必要とする児童（長期療養児）について、適切な療育を確保するために、その疾病の状態及び療育の状況を随時把握すると共に、その状況に応じた適切な指導を行い、長期療養児の日常生活における健康の保持増進及び福祉の向上を図る。

ア 小児慢性特定疾患医療受診券交付と指導指示の状況 (人)

番号	疾病区分	交付数	医療意見書中指導指示有の件数
01	悪性新生物	65	17
02	慢性腎疾患	22	2
03	慢性呼吸器疾患	14	1
04	慢性心疾患	50	0
05	内分泌疾患	87	14
06	膠原病	26	4
07	糖尿病	29	9
08	先天性代謝異常	19	0
09	血友病等血液疾患	15	0
10	神経・筋疾患	20	1
11	慢性消化器疾患	14	0
	計	361	48

イ 療育指導 (3月末)

- (ア) 所内相談 56件 (新規医療券交付時及び継続申請時相談)
- (イ) 家庭訪問 5件 (継続申請及び医療機関からの依頼)
- (ウ) 電話相談 20件 (新規医療券交付時及び継続申請時の相談)

(5) 女性健康支援事業

ア 女性健康相談事業

女性がその健康状態に応じ的確に自己管理を行うことができるよう、気軽に相談できる体制を確立することにより、生涯を通じた女性の健康の保持増進を図る。

・相談件数：79件（3月末）

・相談内容：不妊相談78件（不妊専門相談センターへの紹介4件）

イ 特定不妊治療費助成事業

不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精については、1回の治療費が高額でありその経済的負担が重いことから、治療費の一部を助成し経済的負担の軽減を図る。

・治療費助成承認件数：204件

(6) 未熟児養育医療給付状況

未熟児は、正常な新生児に比べて生理的に欠陥があり、疾病にもかかりやすく、その死亡率は極めて高率であるばかりでなく、心身の障害を残すことも多いことから、生後速やかに適切な処置を講ずることが必要である。このため、医療を必要とする未熟児に対しては、養育に必要な医療の給付を行う。

ア 養育医療給付決定

(人)

年度 市町村	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
弘前市	40	30	42	39	31
黒石市	8	9	5	8	7
平川市	3	7	6	4	6
西目屋村	0	0	1	0	2
藤崎町	1	5	3	3	1
大鰐町	0	7	4	1	0
田舎館村	2	1	2	1	1
板柳町	1	1	2	1	4
計	55	60	65	57	52

イ 出生体重別給付状況（24年度）

(人)

体重(g) 市町村	～499	500～999	1000～ 1999	2000～ 2499	2500～	計
弘前市	0	1	23	5	2	31
黒石市	0	3	3	1	0	7
平川市	0	3	2	0	1	6
西目屋村	0	0	2	0	0	2
藤崎町	0	0	1	0	0	1
大鰐町	0	0	0	0	0	0
田舎館村	0	0	1	0	0	1
板柳町	0	1	2	0	1	4
計	0	8	34	6	4	52

(7) 育成医療給付状況

身体に障害を有する児童、または、現存する疾患を放置することにより将来において障害を残すと認められる児童であって、確実な治療が期待できるものを対象とし、その医療費の一部を助成するものである。

(人)

年 度	01 肢 体 不 自 由			02 視 覚 障 害			03 聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 害			04 そ し や く 音 声 ・ 言 語 ・ 機 能 障 害			05 心 臓 機 能 障 害			06 腎 臓 機 能 障 害			07 小 腸 機 能 障 害			08 肝 臓 機 能 障 害			09 そ の 他 の 内 臓 障 害			計					
	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24			
弘前市	12	16	10	7	10	6	14	10	8	15	16	15	10	9	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	11	12	64	72	58
黒石市	2	0	3	1	0	3	2	3	4	3	3	4	2	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	3	13	13	20
平川市	3	4	6	0	0	1	1	1	0	2	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	10	7	10
西目屋村	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
藤崎町	2	1	0	1	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	5	6	3
大鰐町	2	2	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	4	5	4
田舎館村	0	2	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	5	2
板柳町	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	1	4
合 計	22	26	21	9	12	11	20	16	13	22	22	25	14	15	11	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	15	19	20	104	110	102

* 10免疫機能障害については該当なし。

(8) 小児慢性特定疾患医療受診券交付状況

治療が極めて困難で長期にわたる小児の特定疾患についての治療研究を推進し、その医療の確保と普及を図るとともに、患者家族の医療費の負担軽減を図るため、当該小児に対し小児慢性特定疾患医療受給者証を交付している。

(人)

年 度	01 悪 性 新 生 物			02 慢 性 腎 疾 患			03 慢 性 呼 吸 器 疾 患			04 慢 性 心 疾 患			05 内 分 泌 疾 患			06 膠 原 病			07 糖 尿 病			08 先 天 性 代 謝 異 常			09 免 疫 友 疾 患 等 血 液 ・			10 神 經 ・ 筋 疾 患			11 慢 性 消 化 器 疾 患			計				
	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24	22	23	24					
弘前市	43	42	43	14	17	12	10	11	12	34	31	29	51	60	58	14	15	13	21	20	18	19	18	16	8	8	10	11	10	11	3	3	8	228	235	230		
黒石市	2	2	3	3	3	5	0	0	0	7	8	6	12	16	12	7	5	4	3	4	8	2	1	1	6	4	4	4	8	5	3	3	3	49	54	51		
平川市	6	4	3	2	4	1	1	0	2	8	9	10	11	8	7	5	5	4	1	1	0	2	2	2	0	2	1	2	2	3	0	0	0	38	37	33		
西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
藤崎町	10	9	7	0	0	0	0	0	0	3	2	2	5	5	6	1	7	2	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	22	28	21
大鰐町	4	6	7	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	11	10	13		
田舎館村	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2		
板柳町	1	1	2	1	3	2	0	0	0	4	3	2	4	3	2	2	1	1	4	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	17	14	11		
合 計	67	64	89	20	27	22	11	11	14	57	54	50	84	95	87	33	35	26	32	30	29	23	21	19	14	14	15	19	21	20	8	9	14	368	381	361		

(9) 小児慢性特定疾患児手帳（ひまわり手帳）交付事業

小児慢性特定疾患治療研究事業の公費負担を受けている児童に対し、本人の健康状態の記録・かかりつけ医療機関の連絡先等を記入できる手帳を交付し、患児の福祉の増進に寄与している。

(人)

年度	疾患群											計
	01 悪性新生物	02 慢性腎疾患	03 慢性呼吸器疾患	04 慢性心疾患	05 内分泌疾患	06 膠原病	07 糖尿病	08 先天性代謝異常	09 疾患 血友病等血液・免疫	10 神経・筋疾患	11 慢性消化器疾患	
22年度	7	1	0	5	10	2	1	0	0	1	0	27
23年度	2	4	0	3	8	2	0	1	2	0	0	22
24年度	4	1	0	2	3	2	1	0	0	0	2	15

(10) 先天性代謝異常等検査実施状況

フェニールケトン尿症等の先天性代謝異常、先天性副腎過形成症及び先天性甲状腺機能低下症は、放置すると知的障害などの症状をきたすので、新生児期に血液によるマス・スクリーニング検査を行い、異常を早期に発見することにより、後の治療とあいまって障害を予防することを目的に実施している。

(人)

	先天性代謝異常検査				先天性副腎過形成症検査				先天性甲状腺機能低下症検査			
	件数	検査結果			件数	検査結果			件数	検査結果		
		正常	疑陽性	要精検		正常	疑陽性	要精検		正常	疑陽性	要精検
弘前市	1169	1167	2	0	1172	1167	3	2	1191	1167	22	2
黒石市	226	224	2	0	225	224	1	0	226	224	2	0
平川市	202	202	0	0	225	224	1	0	226	224	2	0
西目屋村	8	8	0	0	8	8	0	0	8	8	0	0
藤崎町	100	99	1	0	99	99	0	0	100	99	1	0
大鱈町	44	44	0	0	44	44	0	0	46	44	2	0
田舎館村	49	49	0	0	50	50	0	0	49	49	0	0
板柳町	71	71	0	0	72	72	0	0	76	71	5	0
管内計	1869	1864	5	0	1873	1865	6	2	1899	1863	34	2

(1 1) 妊婦連絡票実施状況

県では、母子保健の向上、乳児死亡率の低減を目的に、妊婦に対する保健指導の拡充を図るため、平成7年7月より、妊婦連絡票による妊婦支援体制を構築している。医療機関、保健所、市町村の連携のもとに妊娠早期からの面接指導が強化されている。

市町村名	妊婦届出数 A	妊婦連絡票提出数 B (B÷A)	妊婦発行保健指導報告数 C (C÷B)	報告書指導内訳					要 連 絡 票 受 理 指 導 妊 産 婦 数 D	連 要 連 絡 票 問 報 指 導 妊 産 婦 数 E (E÷D)	報告内訳		を は 妊 婦 実 施 し た 保 健 指 導 出 数 F (F÷A)
				計	窓 口	訪 問	電 話	他			保 健 所	市 町 村	
弘前市	1,276	1,264 (99.1)	1,264 (100.0)	1,264	1,261	0	3	0	67	52 (77.6)		52	8 (0.63)
黒石市	262	262 (100.0)	262 (100.0)	262	262	0	0	0	5	5 (100.0)		5	0
平川市	182	182 (100.0)	182 (100.0)	182	151	0	30	1	11	10 (91.0)		10	2 (1.10)
西目屋村	8	8 (100.0)	8 (100.0)	8	8	0	0	0	0	0		0	0
藤崎町	112	111 (99.1)	111 (100.0)	111	106	1	4	0	1	1 (100.0)		1	1 (0.89)
大鰐町	40	39 (97.5)	39 (100.0)	39	38	0	1	0	0	0		0	1 (2.50)
田舎館村	56	56 (100.0)	56 (100.0)	56	54	0	2	0	3	2 (66.7)		2	0
板柳町	84	84 (100.0)	84 (100.0)	84	82	0	2	0	5	6 (100.0)		6	0
計	2,020	2,006 (99.3)	2,006 (100.0)	2,006	1,962	1	42	1	92	76 (82.6)	0	76	12 (0.59)

() : %

(1 2) 平成23年度1歳6カ月児健康診査実施状況(平成23年度母子保健事業実施状況調査より)

ア 一般健診

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
弘前市	1,338	1,321	98.7
黒石市	242	230	95.0
平川市	220	213	96.8
西目屋村	8	7	87.5
藤崎町	114	111	97.4
大鰐町	51	50	98.0
田舎館村	70	63	90.0
板柳町	91	87	92.4
管内計	2,134	2,082	97.6

*受診率が管内平均より低い市町村は、黒石市、平川市、西目屋村、藤崎町、田舎館村、板柳町である。

イ 歯科健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	むし歯の総数 (本)	1人あたりのむし歯本数
弘前市	1,338	1,321	55	0.04
黒石市	242	230	36	0.16
平川市	220	213	30	0.14
西目屋村	8	7	0	0
藤崎町	114	111	2	0.02
大鰐町	50	49	13	0.27
田舎館村	70	63	0	0
板柳町	91	87	7	0.08
管内計	2,133	2,081	143	0.07

*1人あたりのむし歯本数が管内平均より多い市町村は、黒石市、平川市、大鰐町、板柳町である。

(13) 平成23年度3歳児健康診査実施状況 (平成23年度母子保健事業実施状況調査より)

ア 一般健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
弘前市	1,330	1,263	95.0
黒石市	225	212	94.2
平川市	239	236	98.7
西目屋村	10	8	80.0
藤崎町	101	98	97.0
大鰐町	62	62	100.0
田舎館村	51	47	92.2
板柳町	98	93	94.9
管内計	2,116	2,019	95.4

*受診率が管内平均より低い市町村は、弘前市、黒石市、西目屋村、田舎館村、板柳町である。

イ 歯科健診

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	むし歯の総数 (本)	1人あたりのむし歯本数
弘前市	1,330	1,263	1,727	1.37
黒石市	225	212	581	2.74
平川市	239	236	403	1.71
西目屋村	10	8	1	0.13
藤崎町	101	98	171	1.74
大鰐町	62	62	58	0.94
田舎館村	51	47	68	1.45
板柳町	98	93	116	1.25
管内計	2,116	2,019	3,125	1.55

*1人あたりのむし歯本数が管内平均より多い市町村は、黒石市、平川市、藤崎町である。

ウ 耳鼻咽喉科

(ア) 一次健診及び精検結果

	一次健診及び精検受診状況						精検結果 (延)										
	対象人員	受診実人員	受診率 %	要精検人員	精検受診実人員	精検受診率 %	難聴なし	難聴疑い	難聴	その他の耳鼻咽喉科疾患等							その他
										滲出性中耳炎	耳垢塞栓	慢性副鼻腔炎	アデノイド増殖症	口蓋扁桃肥大・害	音声又は言語の障	その他	
弘前市	1,330	1,263	95.0	257	239	93.0	192	44	3	142	45	76	21	4	12	0	
黒石市	225	212	94.2	26	20	76.9	7	6	2	9	5	2	0	0	1	1	
平川市	239	236	98.7	43	36	83.7	24	7	0	17	2	6	2	1	4	3	
西目屋村	10	8	80.0	5	5	100.0	5	0	0	1	2	2	1	1	0	0	
藤崎町	101	98	97.0	25	15	60.0	9	0	0	9	7	7	7	1	1	3	
大鰐町	62	62	100.0	10	9	90.0	8	1	0	5	1	2	0	0	0	0	
田舎館村	51	47	92.2	3	3	100.0	3	0	0	3	0	1	0	0	0	3	
板柳町	98	93	94.9	67	57	85.1	44	4	2	28	19	39	12	0	7	0	
管内計	2,116	2,019	95.4	436	384	88.1	292	62	7	214	81	135	43	7	25	10	

*受診率が管内平均より低い市町村は、弘前市、黒石市、西目屋村、田舎館村、板柳町である。

*精検受診率が管内平均より低い市町村は、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町である。

3 健康増進事業

(1) 保健事業費国庫及び県負担金関係

平成 24 年度保健事業費国庫及び県負担金実績報告にかかるヒアリング聴取を行った。

・日程及び場所：平成 25 年 4 月 17 日～19 日、出席者：8 市町村担当者

(2) 各種検診等実施状況

ア 歯周疾患検診 (H23年度地域保健・健康増進事業報告より) (人)

市町村名	受診者数	指導区分別人員		
		要精検	要指導	異常を認めず
弘前市	874	732	29	113
黒石市	141	132	3	6
平川市	0	0	0	0
西目屋村	0	0	0	0
藤崎町	53	41	1	11
大鰐町	10	10	0	0
田舎館村	0	0	0	0
板柳町	5	0	3	2
管内計	1,083	915	36	132

イ 骨粗鬆症検診 (H23年度地域保健・健康増進事業報告より) (人)

市町村名	受診者数	指導区分別人員		
		要精検	要指導	異常を認めず
弘前市	286	18	82	186
黒石市	118	25	37	56
平川市	293	62	73	158
西目屋村	9	6	1	2
藤崎町	0	0	0	0
大鰐町	80	25	34	21
田舎館村	0	0	0	0
板柳町	120	14	65	41
管内計	906	150	292	464

ウ その他の健康増進事業 (H23年度地域保健・健康増進事業報告より)

(ア) 健康手帳交付 (人)

市町村名	交付数(年度中)		
	40～74歳	75歳以上	計
弘前市	0	0	0
黒石市	490	4	494
平川市	749	12	761
西目屋村	46	29	75
藤崎町	100	0	100
大鰐町	108	0	108
田舎館村	51	15	66
板柳町	0	0	0
管内計	1,544	60	1,604

(イ) 健康教育 (人)

市町村名	個別健康教育				集団健康教育	
	高血圧	糖尿病	高脂血症	喫煙	開催回数	延参加者数
	実施者数	実施者数	実施者数	実施者数		
弘前市	0	0	0	0	179	8,279
黒石市	0	0	0	0	126	3,962
平川市	0	0	0	0	209	2,449
西目屋村	0	0	0	0	18	18
藤崎町	0	0	0	0	81	1,242
大鰐町	0	0	0	0	9	73
田舎館村	0	0	0	0	37	1,146
板柳町	0	0	0	0	24	345
管内計	0	0	0	0	683	17,514

(ウ) 健康相談					(エ) 訪問指導		
市町村名	重点健康相談		総合健康相談		市町村名	被訪問指導 実人員	被訪問指導 延人員
	開催回数	延参加者数	開催回数	延参加者数			
弘前市	34	129	54	765	弘前市	142	149
黒石市	11	28	132	685	黒石市	31	33
平川市	8	235	88	1,358	平川市	256	258
西目屋村	0	0	18	18	西目屋村	74	85
藤崎町	156	1,952	11	284	藤崎町	240	269
大鰐町	27	227	12	12	大鰐町	24	24
田舎館村	3	49	40	1,416	田舎館村	366	395
板柳町	22	1,147	50	69	板柳町	133	140
管内計	261	3,767	405	4,607	管内計	1,266	1,353

4 歯科保健事業

・母と子のよい歯のコンクール

健康な歯を持つ母と子を表彰し、幼児や父母及び地域社会の歯科保健への関心を深め、母子歯科保健の推進を図る。

○対象者：前年度の3歳児歯科健康診査を受診した、むし歯ゼロの幼児310人と母親

○開催月日：平成24年6月3日（日）

○参加者：母子40組

○コンクール結果：平川市の母子が最優秀となった。

5 栄養改善指導事業

(1) 市町村栄養改善業務支援事業

市町村保健計画の企画・立案及び地域住民を対象とした栄養相談等の栄養改善業務に従事する者の資質向上を図る。

ア 連絡調整会議

開催年月日	内 容	参加人員
平成24年 5月22日 (火)	<情報提供> (1)平成24年度弘前保健所健康増進課活動方針について(健康増進課長 白戸 江美子) (2)「平成23年度栄養改善事業実施状況並びに平成24年度栄養改善事業計画状況について」 (各市町村栄養士、保健所栄養士) <情報交換> (1)災害時の対応における避難所の献立作成	市町村行政栄養士 4名 保健所職員3名 計7名

イ 研修会

開催年月日	内 容	参加人員
平成 24 年 9 月 7 日 (金)	<p><講演①> テーマ『保育所・幼稚園等における食物アレルギー 児の対応について』 講師：かきざき小児科アレルギー科クリニック 院長 柿崎 良樹 氏</p> <p><講演②> テーマ『アレルギー表示の見方について』 講師：弘前保健所生活衛生課 主幹 飯塚 崇行</p> <p>※併催：平成 24 年度地域保健関係者研修会 平成 24 年度給食施設栄養管理指導事業研修会</p>	市町村栄養士 4 名 市町村保健師 2 名 市町村在宅栄養士 5 名 保育所職員 110 名 幼稚園職員 5 名 児童福祉施設職員 2 名 計 128 名

ウ その他

市町村事業に対する支援（食生活改善推進員養成講座講師）

- ・ 弘前市 9 月 10 日（月） 修了者 13 名
 「食品衛生と健全な生活環境」（生活衛生課長 佐藤 真）

(2) 食生活改善推進員連絡協議会育成

ア 研修会等

管内市町村食生活改善推進員リーダーを育成し、食生活改善事業の効果的な実施を推進し、住民の健康づくりを図る。

開催年月日	内 容	参加人員
平成 24 年 4 月 26 日 (木)	弘前保健所管内食生活改善推進員連絡協議会総会	31 人
	第 1 回役員会	12 人
平成 24 年 6 月 27 日 (水)	<p><三役連絡会議> 県委託事業 「栄養・食生活に係わる災害時対策事業」打ち合わせ ・衛生管理及び大量調理研修会日程 ・県理事会作成災害時炊き出しメニュー検討（案）からの調理実 習献立選定</p>	5 人
平成 24 年 7 月 10 日 (火)	<p><研修会> 「災害時の炊き出しにおける技術習得研修会」 講義：炊き出し時に気をつけたい衛生管理と食中毒予防 講師：生活衛生課 主査 渡邊さき子 「健康体操 2 種類」 講師：工藤 啓</p>	209 人

平成 24 年 7 月 17 日 (火)	<調理実習> 災害時炊き出しメニュー集 (案) からの調理実習 (4 品) 講師：小山専門員 第 2 回役員会 <研修会>	18 人
平成 24 年 9 月 4 日 (火)	第 3 回役員会	8 人
平成 25 年 3 月 5 日 (火)	第 4 回役員会 ・平成 24 年度総会開催等について	9 人

イ 管内市町村食生活改善推進員設置状況 (平成 25 年 3 月末現在)

市 町 村 名	基準人員数* (人)	会 員 数 (人)	充 足 率 (%)
弘 前 市	1,114	151	14
黒 石 市	192	163	85
平 川 市	165	137	83
西 目 屋 村	8	9	113
藤 崎 町	82	47	57
大 鰯 町	61	67	110
田 舎 館 村	37	45	122
板 柳 町	78	18	23
合 計	1,631	637	39

*70 世帯に 1 人として算定

ウ 管内市町村食生活改善推進員養成講座実施状況

弘前市 (修了者 13 人)、平川市 (修了者 10 人)、大鰯町 (修了者 15 人)

(3) 給食施設栄養管理指導事業

ア 個別巡回指導

特定給食施設等に対し喫食者に対する適切な栄養管理がなされるよう、「給食施設栄養指導票」に基づき実施する。

	特定給食施設		特定多数人に対して 継続的に食事を供給 する施設 (特定給食施設を除く)		計		総計
	有	無	有	無	有	無	
栄養士の有無							
巡回指導対象施設数	79	17	83	30	162	47	209
巡回指導延施設数	26	0	29	2	55	2	57
指導率 (%)	33	0	35	7	34	4	27

イ 研修会

開催年月日	平成 24 年 9 月 7 日（金） 13：00～14：45
場 所	青森県武道館会議室 1、2、3
対象者及び参加者数	保育所職員 110 名、幼稚園職員 5 名、児童福祉施設職員 2 名、行政 6 名、市町村在宅栄養士 5 名、計 128 名 （職種別：施設長、管理栄養士、栄養士、調理師、調理員、看護師、保健師）
内 容	<p><講演①> テーマ『 保育所・幼稚園等における食物アレルギー児の対応について 』 講師：かきざき小児科アレルギー科クリニック 院長 柿崎 良樹 氏</p> <p><講演②> テーマ『 アレルギー表示の見方について 』 講師：弘前保健所生活衛生課 主幹 飯塚 崇行</p> <p>併催：平成 24 年度地域保健関係者研修会、平成 24 年度市町村栄養改善支援事業研修会</p>

（４） 外食栄養成分表示店定着促進事業

外食利用者が栄養情報に基づく適切な料理選択を行い、食生活を要因とする生活習慣病予防を図ることが出来るよう外食栄養成分表示店の拡大を図る。

- 平成 24 年 3 月末現在、弘前保健所管内外食栄養成分表示店登録延数：49 店舗
（平成 23 年度 新規登録店 0 店舗）

○内 訳

市町村名	登録延数	新規登録数
弘 前 市	20	0
黒 石 市	22	0
平 川 市	1	0
西目屋村	0	0
藤 崎 町	1	0
大 鱈 町	3	0
田舎館村	1	0
板 柳 町	1	0
計	49	0

（５） 栄養表示基準制度等に係る指導及び相談

栄養表示基準制度の望ましい運営を図るため、表示の普及啓発及び活用について、消費者及び食品業者に対し適切な相談指導を行い、また広告等の表示の適正化を図り、消費者への適切な情報の提供を図る。

- 栄養表示基準制に関する表示適正化指導及び相談等：延べ 50 件

(6) 平成24年国民健康・栄養調査事業

ア 目的

健康増進法（平成14年法律103号）に基づき実施するものであり、国民の身体状況、栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るために基礎資料を得るために実施する。本年（大規模年）は、全国の代表値に加えて都道府県別の状況を把握するための資料とする。

イ 調査地区、内容等

調査地区	弘前市大字田園3丁目2, 3, 5及び高田4丁目2, 3	板柳町大字いたや町3丁目
世帯数	89世帯	43世帯
対象者数	218人（満1歳以上の住民）	103人（満1歳以上の住民）
調査実施日	身体状況調査 平成24年11月15日(木) 午後4時30分～午後7時 会場：カブセンター弘前店広告塔会議室	平成24年10月31日(水) 午後4時30分～午後7時 会場：いたや町集会場
	栄養摂取状況調査	平成24年11月12日(月)
	生活習慣調査	平成24年11月6日(火)～平成24年11月9日(金)
調査票配布日	平成24年11月6日(火)～平成24年11月9日(金)	平成24年10月25日(木)～平成24年10月31日(水)
調査票回収日	平成24年11月13日(火)～平成24年11月15日(木)	平成24年10月30日(水)～平成24年10月31日(月)

ウ 調査実施者数等

項目	弘前市		板柳町	
	対象者	実施者(%)	対象者	実施者(%)
栄養摂取状況調査	89世帯	51世帯(57%)	43世帯	31世帯(72%)
身体状況調査 (1歳以上)	218	147(67%)	103	74(72%)
血液検査 (20歳以上)	180	26(14%)	85	19(22%)
生活習慣調査 (20歳以上)	180	131(73%)	85	65(76%)

6 精神保健福祉関係

(1) 通報状況

(人)

区 分	申請 通報	調査により診察 の必要がないと 認められた者		診 察 を 受 け た 者		
		入院	その他	精 神 障 害 者		精神障害者で なかった者
				法第 29 条該当症 状の者	法第 29 条該当症 状でなかった者	
一 般 の 申 請	1	0	0	0	1	0
警 察 官 の 通 報	17	0	1	7	9	0
検 察 官 の 通 報	4	1	3	0	0	0
保 護 観 察 所 長 の 通 報	0	0	0	0	0	0
矯 正 施 設 の 長 の 通 報	6	0	4	1	1	0
病 院 の 管 理 者 の 届 出	0	0	0	0	0	0
医 療 観 察 法 の 対 象 者	0	0	0	0	0	0
計	28	1	8	8	11	0

(2) 医療状況

ア 入院・通院状況

(人)

市町村別	入 院		通 院	計
	措 置	医療保護		
弘 前 市	6	980	2,342	3,328
黒 石 市	1	324	374	699
平 川 市	1	215	348	564
西 目 屋 村	0	6	12	18
藤 崎 町	0	88	167	255
大 鱈 町	0	92	101	193
田 舎 館 村	0	54	65	119
板 柳 町	0	74	167	241
合 計	8	1,833	3,576	5,417

イ 通院医療状況

疾病別患者数では、統合失調症（F2）は全体の45.6%を占め圧倒的に多い。（人）

市町村別	F0 症状性を含む器質性精神障害	F1 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F2 統合失調症、統合失調定型障害及び妄想性障害	F3 気分障害	F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現障害	F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F6 成人の人格及び行動の障害	F7 精神遅滞	F8 心理的発達障害	F9 小児期及び青年期に通常発症する行動の障害等	G40 てんかん	その他 分類不明	合 計
弘前市	82	75	1,049	613	111	6	29	36	52	16	201	72	2,342
黒石市	8	14	177	90	23	0	5	6	7	7	26	11	374
平川市	11	8	157	84	15	2	1	13	5	4	34	14	348
西目屋村	0	1	8	1	1	0	0	1	0	0	0	0	12
藤崎町	9	5	82	28	10	0	1	5	7	2	9	9	167
大鰐町	7	2	44	30	5	0	0	3	1	0	7	2	101
田舎館村	4	0	35	10	3	0	0	3	2	1	3	4	65
板柳町	15	1	77	28	6	0	2	5	3	0	16	14	167
合 計	136	106	1,629	884	174	8	38	72	77	30	296	126	3,576

(3) 精神障害者保健福祉手帳所持者数

所持者数の割合で見ると、1級36.8%、2級53.5%、3級9.7%の順となっている。（人）

市町村別	1級	2級	3級	計
弘前市	540	792	140	1,472
黒石市	74	131	35	240
平川市	83	107	21	211
西目屋村	5	3	0	8
藤崎町	42	62	4	108
大鰐町	29	34	7	70
田舎館村	16	25	2	43
板柳町	32	39	8	79
合 計	821	1,193	217	2,231

(4) 精神保健福祉相談（定期・随時・電話）

受診及び入院に関する相談（24.6%）が最も多く、次いで社会復帰について（7.0%）が多かった。

ア 相談開設日及び従事者

	定 期 相 談 【予約制】	定期外相談・電話相談
開 設 日	偶数月 第2・第4木曜日 奇数月 第2木曜日 ※受付 13:00~14:00	随 時
従 事 者	嘱託医 ・弘前愛成会病院 院長 田崎 博一 ・藤代健生病院 名誉院長 坂本 隆 ・弘前大学医学部附属病院 医師 菅原 典夫 保健師	保 健 師

イ 相談内容

(人)

	相談件数	主な相談内容														平成23年度	
		受診・入院について	通院・服薬指導について	生活指導について	経済的問題について	性格・行動上について	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスについて	ひきこもりについて	自殺関連		その他
合計	561	138	24	35	3	38	22	16	1	10	0	39	3	15	8	209	502
定期	42 (37)	11	1	4	0	8	8	1	0	0	0	0	0	5	0	4	40 (35)
随時	84 (66)	37	2	1	2	4	6	1	0	0	0	12	1	4	0	14	62 (52)
電話	435	90	21	30	1	26	8	14	1	10	0	27	2	6	8	191	400

* () 内の数値は実数

ウ 定期・随時相談の相談者内訳 (延数)

続柄	相談件数	本人	家族等				
			配偶者	父・母	同胞	子	その他
来所相談	126	28	12	58	8	10	62

エ 相談経路

来所相談件数	自発来所	関係機関の紹介				その他
		市町村	医療機関	警察署	その他	
126	79	10	14	5	12	6

(5) 家庭訪問

家族の依頼や関係機関等の連絡による受診勧奨の支援や、また職親制度利用者について、協力事業所や医療機関と連携の上、対応している。

(人)

平成22年度訪問件数(件)	対象者別訪問状況						支援内容 ※延件数						平成23年度訪問件数
	総計	一般	職親事業	アルコール	ひきこもり	社会復帰	受診・入院に向けた調整	通院・服薬指導	生活指導	家族関係調整	社会復帰	その他	
延数	125 (64)	109	5	7	3	1	37	11	27	4	12	34	81 (56)

* () 内の数値は実数

(6) 社会復帰支援対策

ア 社会適応訓練事業（職親制度）

回復途上にある通院中の精神障害者を、一定期間、協力事業所に通わせ社会適応訓練を実施することにより再発防止と社会的自立を促進し社会復帰を図っている。

項目	平成 24 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
登録協力事業所 (新規再掲)	21 ヲ所 (0)	21 ヲ所 (0)	21 ヲ所 (0)
事業所別 利用者	弁当屋 1 人 紙工店 1 人	弁当屋 2 人	弁当屋 3 人 手芸店 1 人
利用者数 (新規再掲)	2 人 (2 人)	2 人 (0 人)	4 人 (1 人)
転 帰	継 続		2 人
	中 止	1 人	2 人
	(内訳)	就職 1 人	病状悪化 1 人 地域活動支援センター 1 人
	終 了	1 人	2 人
	(内訳)	就職 1 人	就職 1 人 就労サポート利用 1 人

イ 社会適応訓練事業利用者連絡会

社会適応訓練事業利用者が参集し訓練計画の作成・情報交換、保健師による個別相談を利用する。

(ア) 実施回数 2 回（偶数月に 1 回開催：第 3 金曜日 13:00～15:00、訓練期間満了及び訓練中止となり 10 月で終了。）

(イ) 開催場所 弘前保健所

(ウ) 利用者数 延人数 3 人（実人数 2 人）

(エ) 従事者 保健師

ウ 精神障害者社会復帰支援協議会

精神障害者の社会復帰、自立及び社会参加の促進及び社会適応訓練事業の円滑な運営を図るため、関係機関、関係団体等による協議を行う。

開催年月日	出席者	内 容
平成 25 年 3 月 1 日 (金)	①協議会委員 12 人 ②代理者 5 人 ③事務局 4 人 計 21 人	1 協議 社会適応訓練事業について 2 情報交換 地域移行支援・地域定着支援の実施状況 3 その他 精神障害者アウトリーチ支援事業の実施状況

エ 精神障害者アウトリーチ支援事業

精神医療の受療中断者、自らの意思では受診が困難な精神障害者（未受診者）、長期入院等の後退院した者、入退院を繰り返す精神障害者等の地域生活定着のため、一定期間、保健、医療及び福祉・生活の包括的な支援を行うことにより、新たな入院及び再入院を防ぎ、地域生活が維持できるような体制を地域において構築することを目的に実施した。

(ア) 受託事業所数：1ヵ所

(イ) 支援対象者：9人（受療中断者 5人、入退院を繰り返す者 4人）

(ウ) 保健所の役割

- ・ケア会議参加による支援状況への助言、対象者選定の検討
- ・対象者紹介、初回同行訪問、継続同行訪問
- ・6か月評価への参加
- ・関係者への事業等周知、情報提供

(7) 自殺対策事業

ア 「地域特性を踏まえた自殺対策力強化」事業

(ア) 自殺予防のための住民力再生支援

管内は40～60代の男性の自殺が多く、加えて核家族化や高齢者世帯が増加している中、地域住民が相互に支え合う地域力の低下が危惧されていることから、安全で安心なまちづくりとして、住民の意識の啓発、地域及び関係者の潜在力の発掘、育成をする。

○弘前市モデル事業「弘前市安心して暮らせる地域づくり事業」の協働実施

- ・目的：自殺を防ぎ支え合う地域づくりの構築を目指した調査、啓発、自主活動の育成
- ・内容：平成23年度から住民参加型の地域づくり手法で、弘前市高崎町会に引き続き、新たに桜庭町会を設定し、安心して暮らせるまちづくりのためにインタビュー調査し、地域の課題について住民とともに話し合う。

(イ) ゲートキーパースキルアップ研修会

開催年月日	参加者	内 容
平成 24 年 7 月 3 日 (火)	精神保健ボランティア リボンの会 27 人	○講話「自殺の原因と予防、うつ病について」 ・講師：弘前保健所 主幹 浪内妙子
平成 24 年 8 月 27 日 (月)	市町村関係者・民生委 員児童委員 80 人	○講演「うつ病の病態と対応の仕方」 ・講師：弘前愛成会病院長 田崎博一

イ 自殺対策ネットワーク構築事業

目的：働き盛りの壮年期男性に自殺者が多いことから、壮年期の自殺対策を効果的に実施するためのネットワークを構築し、総合的な自殺対策を推進する。

(ア) 自殺対策ネットワーク研修

開催年月日	参加者等	内 容 等
平成25年2月5日（火）	市町村関係者 35人	○自殺対策における市町村の取組み 3市町から自殺対策の取組みを報告 ・弘前市：健康推進課 主査 澤居 史香子 ・平川市：健康推進課 保健師 赤平 愛 ・藤崎町：福祉課 主任保健師 佐々木 貞子 ○講演「地域づくりとしての自殺対策」 講師：大妻女子大学家政学科 教授 反町 吉秀

(イ) 弘前市以外の市町村支援（事業企画、運営支援等）

- ・自殺予防実務者会議及び研修会等打合せ（藤崎町3回）

(ウ) 自殺未遂者及び家族向け管内版リーフレットの作成配布

救急外来で自殺未遂者に取り組んでいる健生病院及び自殺未遂者関連研修において配布した。

(エ) 自殺企図者実態調査

平成22年度に管内消防署の救急搬送自損行為調査を実施。3年後（平成25年度）に再調査を実施する。

(8) 連携組織に対する支援

ア 精神障害者家族会等

家族会等組織が自立した活動を継続できるよう、地域家族会については、自主的な会運営の推進のために、随時相談等で対応した。

また、関係者との情報交換の場において、話題提供をした。

開催年月日	参加者	内 容
平成24年 7月2日（月）	津軽地域精神障がい者社会復帰支援連絡会（つがるネット）	○話題提供 「地域における精神保健福祉の現状について」 ・講師：弘前保健所 主幹 舘田有佳子

イ 精神保健福祉ボランティア

精神保健福祉ボランティア講座修了者が平成16年度に「リボンの会」を設立、現在会員数は22人で自主活動をしている。

平成24年度は、組織が自主的に実施した精神保健福祉ボランティア講座の講師として協力をした。

開催年月日	参加者	内 容
平成24年 7月3日（火）	精神保健ボランティア希望者及びリボンの会会員 27人	○講話「自殺の原因と予防、うつ病について」 ・講師：弘前保健所 主幹 浪内妙子

(9) ケース処遇に関する会議

心神喪失者等医療観察法に基づく処遇、地域移行支援特別対策事業や精神障害者アウトリーチ支援に係る対象者の支援、退院後の処遇等について、医療機関、青森保護観察所、市町村等の関係機関と協議、検討を行った。

ア 開催回数等

- ① 開催回数：47回
- ② 事例数：延 132 件

イ 実施内容

- ① 精神障害者アウトリーチ支援事業に基づくケア会議等：97件
- ② 精神障害者地域ケア会議：28 件
- ③ 心身喪失者等医療観察法に基づく処遇検討：6 件
- ④ 社会適応訓練事業利用希望者ケア会議：1 件

(10) 精神科病院に対する実地指導について

障害福祉課と同行し、精神科病院実地指導は 5 医療機関に対して、利用者の処遇等について指導を行った。

(11) 津軽地域精神科救急医療システム稼働状況

救急当番病院は当地域には4病院あり、休日・夜間の精神科救急に対応している。受診にあたってはかかりつけ医療機関を優先として実施している。精神疾患のため緊急に医療を必要としている精神障害者が受療しているが、診察の結果 27.1%が入院医療を必要としている。

病 院 名	平成 24 年度	内 訳			平成 23 年度
		電話のみ	来 院	入 院	
弘前愛成会病院	154	70	84	43	173
藤代健生病院	182	0	182	28	202
黒石あけぼの病院	19	10	9	4	19
聖康会病院	2	0	2	0	0
合 計	357	80	277	75	394

(12) 津軽地域精神科救急医療システム連絡調整委員会

津軽地域の救急医療システムの円滑な運営を図るために、医師会、医療機関、警察署、消防本部をメンバーとする連絡調整委員会を開催している。

開催年月日	出席者	内 容
平成 25 年 2 月 13 日 (水)	委員 12 人 医師会 2 医療機関 5 警察署 1 消防本部 4	議題 (1) 津軽地域精神科救急医療システム事業実績について (2) 精神科救急医療システムの運営に係わる課題について

7 難病関係

(1) 特定疾患治療研究事業

難病のうち、治療方法が確立していないなど治療が極めて困難で、症状も慢性に経過し、後遺症を残すことが少なくなく、そのうえ社会復帰が難しく医療費も高額なため、経済的な問題や介護等家庭的にも精神的にも負担の大きい疾病であり症例が少ないことから、全国的規模での研究が必要な疾患を特定疾患と定義している。

現在特定疾患は130疾患あり、そのうち56疾患を公費負担の対象としている。

ア 特定疾患医療受給者数

(人)

疾患番号	疾患名	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
1	ベーチェット病	73	75	76	83
2	多発性硬化症	36	39	43	44
3	重症筋無力症	39	43	41	41
4	全身性エリテマトーデス	133	135	138	142
5	スモン	3	2	2	3
6	再生不良性貧血	47	51	49	50
7	サルコイドーシス	65	69	77	83
8	筋萎縮性側索硬化症	34	33	32	30
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	100	109	119	124
10	特発性血小板減少性紫斑病	63	62	66	70
11	結節性大動脈炎	9	10	13	16
12	潰瘍性大腸炎	182	208	234	253
13	大動脈炎症症候群	17	16	14	14
14	ピュルガー病	34	31	31	30
15	天疱瘡	7	10	11	11
16	脊髄小脳変性症	68	70	74	76
17	クローン病	63	69	73	78
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎	0	0		
19	悪性関節リウマチ	20	18	21	22
20	パーキンソン病関連疾患	328	329	337	347
21	アミロイドーシス	3	3	3	4
22	後縦靭帯骨化症	151	153	167	167
23	ハンチントン病	0	0		
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	9	13	14	17
25	ウェゲナー肉芽腫症	3	3	3	3
26	特発性拡張型（うっ血性）心筋症	34	37	39	36
27	多系統萎縮症	23	24	22	24
28	表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	1	1	1	1
29	膿疱性乾癬	2	2	2	3
30	広範脊柱管狭窄症	11	10	9	8
31	原発性胆汁性肝硬変	42	42	43	46
32	重症急性膵炎	3	1	2	2
33	特発性大腿骨頭壊死症	54	61	63	72
34	混合性結合組織病	21	21	21	24
35	原発性免疫不全症候群	2	2	2	2
36	特発性間質性肺炎	5	5	4	3
37	網膜色素変性症	41	45	43	41
38	プリオン病	1	1		
39	原発性肺高血圧症	2	3	2	
40	神経線維腫症（I型・II型）	8	9	10	11
41	亜急性硬化性全脳炎	0	0		
42	バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群	0	0		
43	特発性慢性肺血栓塞栓症（肺高血圧型）	4	3	3	3
44	ライソゾーム病	0	0		
45	副腎白質ジストロフィー	1	1	1	1
46	家族性高コレステロール血症	0	0		
47	脊髄性筋萎縮症	0	0		
48	球脊髄性筋萎縮症	4	5	7	7
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4	14	16	17
50	肥大型心筋症	1	1	1	1
51	拘束型心筋症	0	0		
52	ミトコンドリア病	1	1		
53	リンパ管筋腫症	0	0		
54	重症多形滲出性紅斑	0	0		
55	黄色靭帯骨化症	2	4	6	12
56	間脳下垂体機能障害	48	68	74	77
	合計	1,802	1,912	2,009	2,102

* 疾病番号20（パーキンソン病関連疾患）には、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病が含まれ、疾病番号27（多系統萎縮症）には、腺条体黒質変性症、オリブ橋小脳変性症、シャイ・ドレーガー症候群が含まれ、疾患番号56（間脳下垂体機能障害）には、プロラクチン分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症を含んでいる。

* 疾病番号46から56までについては平成21年度に追加となった。

イ 市町村別特定疾患医療受給者数（平成24年度内訳）

（人）

疾患番号	疾患名	弘前市	黒石市	平川市	西目屋村	藤崎町	大鰐町	田舎館村	板柳町	総計
1	ベーチェット病	43	12	12	1	2	6	6	1	83
2	多発性硬化症	27	5	4		2	3	3		44
3	重症筋無力症	28	1	3		3	2		4	41
4	全身性エリテマトーデス	92	19	15		6	3	3	4	142
5	スモン	3								3
6	再生不良性貧血	31	7	5	2	1		1	3	50
7	サルコイドーシス	52	12	10		3		2	4	83
8	筋萎縮性側索硬化症	18	2	6	1	1	1	1		30
9	強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	75	9	19		4	4	2	11	124
10	特発性血小板減少性紫斑病	43	8	7	1	4	2		5	70
11	結節性動脈周囲炎	8	4	3			1			16
12	潰瘍性大腸炎	161	27	24	2	12	6	12	9	253
13	大動脈炎症候群	8	2	1		3				14
14	ビュルガー病	14	6	4			3	1	2	30
15	天疱瘡	10	1							11
16	脊髄小脳変性症	53	9	4		4	1	2	3	76
17	クローン病	46	6	10		3	8	2	3	78
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎									0
19	悪性関節リウマチ	10	1	1		3	3	1	3	22
20	パーキンソン病関連疾患	211	43	29	4	17	13	9	21	347
21	アミロイドーシス	3				1				4
22	後縦靭帯骨化症	99	21	14	1	11	5	2	14	167
23	ハンチントン病									0
24	モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	11	2	3		1				17
25	ウェゲナー肉芽腫症	1	1				1			3
26	特発性拡張型（うっ血性）心筋症	25	2	3		3			3	36
27	多系統萎縮症	13	4	3		2	1		1	24
28	表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	1								1
29	膿疱性乾癬	2		1						3
30	広範脊柱管狭窄症	7							1	8
31	原発性胆汁性肝硬変	25	6	9			4		2	46
32	重症急性膵炎	1				1				2
33	特発性大腿骨頭壊死症	38	10	9		7		4	4	72
34	混合性結合組織病	8	7	4		2	1		2	24
35	原発性免疫不全症候群	2								2
36	特発性間質性肺炎	1				1			1	3
37	網膜色素変性症	27	5	3		1	1	2	2	41
38	プリオン病									0
39	原発性肺高血圧症									0
40	神経線維腫症	7			2	1			1	11
41	亜急性硬化性全脳炎									0
42	バッド・キアリ（Budd-Chiari）症候群									0
43	特発性慢性肺血栓塞栓症（肺高血圧型）	1	1	1						3
44	ライソゾーム病									0
45	副腎白質ジストロフィー	1								1
46	家族性高コレステロール血症									0
47	脊髄性筋萎縮症	1	1							2
48	球脊髄性筋萎縮症	6				1				7
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	13	3			1				17
50	肥大型心筋症	1								1
51	拘束型心筋症	1								1
52	ミトコンドリア病									0
53	リンパ脈管筋腫症									0
54	重症多形滲出性紅斑									0
55	黄色靭帯骨化症	10	1				1			12
56	間脳下垂体機能障害	48	8	4		6	6	1	4	77
	合計	1,286	246	211	14	107	76	54	108	2,102

(2) 難病患者等相談事業

ア 医療相談

難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の相談に対し、専門医等による指導・助言等を行い、在宅療養の推進を図りながら、関係者間での連携を強化し、安心・安全に療養できるためのネットワークづくりを図る。

災害時要援護者支援対策の推進に着眼し、①対象者に支援関係者を加え②学習や協議の場を設け③モデル事例への取り組み等を位置付け、継続的・一体的に取り組む。

○医療相談3回実施

回	1	2		3
日時	平成24年6月29日(金)	平成24年8月31日(金)		平成24年10月25日(木)
		14:00～15:00	15:30～16:00	13:30～15:40
場所	藤崎町文化センター	田舎館村役場	田舎館村患者自宅	弘前市文化センター
対象者	藤崎町、板柳町、西目屋村のパーキンソン病患者及びその家族、前年度参加者、患者会津軽ブロック会員、64人	・ALS患者及びその家族 ・支援関係者(保健・障害福祉・介護保険・災害対策含む市町村関係者、医療機関関係者、福祉機関関係者、消防署)、東北電力、医療機器業者、難病相談・支援センター等		脊髄小脳変性症、多系統萎縮症の患者及びその家族
参加者	29名参加 パーキンソン病患者家族12組(16人) 市町村関係者2人 難病相談支援センター相談支援員 看護学生10名	44名参加 ALS患者家族1人(同居の次男) 支援関係者24人 その他19人*	26名参加 ALS患者家族(本人,妻,次男) 支援関係者23人	27名参加 患者11名、家族10名(13患者世帯) 青森SCD・MSA友の会会長、支援スタッフ 友の会活動ボランティア 川村泰子 保健所次長、保健師
従事者	所長、保健師5 訪問相談員2	所長、保健師5、 事務1	所長、保健師5、 事務1	青森SCD・MSA友の会会員、ボランティア保健所保健師
内容	1 講話「パーキンソン病と向き合い安心・安全に療養するために」 講師 国立病院機構青森病院副院長高田博仁(神経内科医師) 2 実技「生活の中で継続できるリハビリ」 講師 国立病院機構青森病院理学療法士長 3 交流会(2G編成) 4 神経内科医の個別相談3人 理学療法士の個別相談3人	難病患者支援ネットワーク会議(モデル事例3年目) 話し合い「支援ネットワークを地域に広げていくために」 「過去2年間の取り組みの検証」 講師 国立病院機構青森病院副院長 高田博仁(神経内科医師)	神経内科医による医療相談及び療養状況把握 専門医：国立病院機構青森病院副院長 高田博仁(神経内科医師)	1 講演「在宅で利用できる社会福祉サービスについて」 講師 国立病院機構青森病院 大平ソーシャルワーカー 2 交流会
備考	パーキンソン病患者会津軽ブロックの活動と共催	一部保健・医療・福祉包括ケアシステムに係る現地懇談会(田舎館村)に併催*		青森SCD・MSA友の会からの協力依頼を受けて共催で実施

○ケア会議5回実施

患者本人、家族、支援関係者によるケア会議を随時実施している。

イ 訪問相談

医療相談に参加できない難病患者やその家族の抱える医療及び日常生活上の相談に対し、相談員等による日常生活上の相談、指導、助言及び精神的支援を行い、在宅療養の推進を図る。

(ア) 訪問相談

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
保健所保健師 (件)	24	42	41	22
訪問相談員 (件)	158	113	124	120
計	182	155	165	142

(イ) 打ち合わせ会

開催年月日	平成 24 年 4 月 25 日 (水)	平成 24 年 8 月 6 日 (月)	平成 24 年 12 月 3 日 (月)	平成 25 年 3 月 4 日 (月)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「相談員の証」 交付 ・H24 年度計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施状況 ・情報交換等 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施状況及び 計画 ・情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度 実施結果 ・平成 25 年度 計画 ・学習会「障害者 自立支援法に よるサービス について」

(3) 新規特定疾患医療受給者証 交付時相談

新規に難病と診断された患者やその家族が抱える医療及び日常生活に関する悩みに対し、特定疾患医療受給者証の交付時を利用した相談・指導・助言及び精神的支援を行い、難病患者の在宅療養の推進を図る。

平成 22 年度から保健師配置し、継続申請時の相談(6～8 月実施)を行っている。

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
受給者証交付時相談 (件)	206	159	134	140
		継続申請時 1,611	継続申請時 562	継続申請時 864
電話相談 (件)	130	70	62	21
計	336	1,840	758	1025

(4) 患者会支援

同じ疾患をもつ患者やその家族が、医療や日常生活に関する悩みを共有し難病と闘っていく心の支えとするための活動を行う等、難病患者が在宅療養の推進を図ることの支援を行う。

- ア 自主的組織 (まるめろの会「後縦靭帯骨化症患者会」) 活動への支援
情報提供等
- イ 患者会 (全国パーキンソン友の会青森県支部津軽ブロック) 活動への支援
患者会と共催で医療相談の実施、情報提供等
- ウ 患者会 (青森SCD・MSA友の会) 活動への支援
患者会と共催で医療相談(患者交流会)の実施、情報提供等

(5) 在宅重症難病患者家族支援事業

- ・受託先：ケアサービス弘前看護婦家政婦紹介所、利用者数：0人

8 津軽地域 地域・職域保健連携推進事業

当圏域は、短命地域であり、また自殺による死亡率も高い等の健康課題を抱えていることから市町村や保健所等で実施している保健サービスと職域で実施している保健事業について相互の連携を密にし、生活習慣病の予防やメンタルヘルス対策について、効果的な健康づくりを推進する。

(1) 地域・職域保健連携対策検討会

単独開催せず、地域保健医療推進協議会と併催した。

- 実施日時：平成 25 年 3 月 11 日（月）13：30～15：00
- 場所：弘前市立中央公民館 2 階 会議室
- 内容：①青森県保健医療計画について
- ②津軽地域保健医療圏における重点的取組みについて
- ③津軽健康 21 の評価及び次期計画について

(2) 市町村・事業所における健康づくり研修会、支援

開催年月日	参加者	内 容 等
平成 24 年 7 月 3 日（火）	精神保健ボランティア リボンの会 27 人	○講話「自殺の原因と予防、うつ病について」 ・講師：弘前保健所 主幹 浪内妙子 *自殺対策事業併催
平成 24 年 8 月 27 日（月）	市町村関係者・民生委 員児童委員 80 人	○講演「うつ病の病態と対応の仕方」 ・講師：弘前愛成会病院長 田崎博一 *自殺対策事業併催
平成 25 年 1 月 29 日（火）	県職員定期健康診断事 後指導者 12 人	○講話「たばこと健康」 ・講師 弘前保健所 技師 柴田早紀

9 保健師業務連絡会議

管内市町村・事業所等に勤務する保健師を対象として、保健活動に関する情報交換及び学習会を開催し、業務の円滑化を図る。

開催年月日	参加者	内 容
平成 24 年 6 月 19 日 （火）	市町村 22 人 保健所 10 人 計 32 人	○情報提供及び意見交換 ①健康増進計画策定について ②平成 24 年度管内市町村及び保健所重点活動について ③母子保健法権限移譲に伴う体制及び課題について ④特定健診・特定保健指導について ⑤介護・福祉における保健師活動について ⑥弘前市における自殺対策への取組みについて
平成 24 年 12 月 10 日 （月）	市町村 25 人 保健所 11 人 計 36 人	(1) 初任期・新任保健師研修に係る研修報告及び意見交換 (2) 保健活動事業実施状況及び情報提供 ①健康増進計画の評価及び次期計画について ②母子保健法権限移譲に係る進捗状況について ③自殺対策緊急強化事業について *初任期・新任保健師研修と併催

10 保健師の育成支援

(1) 新任等保健師育成支援事業

行政機関で保健活動を経験したことのある退職保健師がトレーナー保健師として、保健所の新任保健師が行う保健活動について支援するものである。

ア 打合せ、評価会

○内容：事業計画、進捗状況、実施状況と今年度の振り返り、来年度の課題等について意見交換を行った。

(ア) 平成24年6月12日(火) 場所：保健所 出席者：トレーナー保健師、保健所

(イ) 平成24年9月28日(金) 出席者：トレーナー保健師、健康福祉政策課、保健所

(ウ) 平成25年3月6日(水) 出席者：トレーナー保健師、健康福祉政策課、保健所

イ 活動日数及び内容

○トレーナー保健師活動日数 21.0日

項目	日数	内容
①家庭訪問	13.0	・未熟児 13件(実6件) ・難病 3件(実1件)
②医療相談	1.0	・難病 1件(実1件)
③市町村等事業見学・参加	4.0	・平川市特定健診結果説明会 1件 ・弘前市三歳児健診 ・弘前市1歳6カ月児健診 ・弘前市パパママ教室、マタニティ歯科健診
④活動打合せ、評価会	3.0	

(2) 初任期保健師及び新任期保健師研修

初任期保健師及び新任期保健師が、保健師の専門能力を発揮し、地域保健活動を展開できるよう、対人支援や保健事業実施のための基本的な実践能力を身につけるとともに、現任教育の体制づくりを推進する。

目標

<初任期>担当業務を中心に法令や施策体系を理解し、公衆衛生の視点を持って個人の対人支援や保健事業の実施ができる。

<新任期>基本的な実践能力を確実なものとして保健師活動を展開することができ、最適なサービス提供のために、関係職種、関係機関・者を選択し、連携・調整ができる。

ア 対象者：17人 初任期3人、新任期14人

受講者：16人

┌ 初任期 3人(弘前市2人、保健所1人)

└ 新任期13人(弘前市3人、黒石市3人、平川市1人、西目屋村1人、藤崎町2人、板柳町1人、保健所2人)

イ 内容

	開催年月日	プログラム	出席者数
1	平成 24 年 7 月 20 日 (金)	〈講義〉 ・公衆衛生における保健所の機能と役割 ・津軽地域保健医療圏の保健衛生の概況 ・地域診断のすすめ方 ・みる、つなぐ、動かす保健師活動	初任期：3 人 新任期：10 人
2	平成 24 年 8 月 10 日 (金)	〈グループワーク〉 ・家庭訪問のすすめ方 〈ロールプレイ〉 ・家庭訪問インタビュー	初任期：3 人 新任期：12 人
3	平成 24 年 8 月 20 日 (月)	〈家庭訪問〉 ・弘前市桜庭地区	初任期：3 人 新任期：9 人
4	平成 24 年 10 月 3 日 (水)	〈家庭訪問〉 ・黒石市における被災地支援活動の実際 〈講義・グループワーク〉 ・担当地区の健康課題解決に視点をあてた保健活動の実際	初任期：3 人 新任期：11 人
5	平成 24 年 12 月 10 日 (月)	〈グループワーク・全体討議〉 ・担当地区の健康課題解決に視点をあてた保健活動の実際 〈発表〉 ・保健師業務連絡会	初任期：3 人 新任期：12 人

1 1 石綿に係る健康相談等及び被害救済制度に関する申請状況

石綿による健康被害の特殊性にかんがみ、石綿による健康被害を受けた者及びその遺族に対し、医療費等を支給するための措置を講ずることにより、石綿による健康被害の迅速な救済を図る。

(1) 健康不安に関する相談等

相談件数 1 件

(2) 石綿健康被害救済制度に係る申請受付状況

平成 2 4 年度においては、認定申請 1 件及び特別遺族弔慰金請求 1 件の申請があった。

1 2 保健協力員の育成支援事業

市町村等が所管し育成している保健協力員等組織を対象に、活動に関する情報交換と地域の健康問題についての学習、意見交換等を行い、管内の保健協力員活動の活性化及び健康水準の向上に寄与することを目的に支援した。

(1) 実施状況

ア 研修会

開催年月日	場 所	内 容	参 加 者
平成24年 8月22日(月)	青森県 武道館 会議室	◎活動紹介及び意見交換 「私たちの23年度の活動と24年度の 計画から」 発表 管内市町村保健協力員 ◎講 演 「なってよかった保健協力員～田子町 の推進員活動から」 講 師 田子町保健推進連絡協議会 会長 宮村良子 氏	保健協力員 56人 市町村担当者 8人 保健所 6人 計 70人

イ 役員会

開催年月日	内 容	参 加 者
平成24年 6月21日(木)	・平成23年度事業及び決算報告について ・平成24年度事業計画及び予算(案)について	保健協力員 8人 市町村担当者 8人 保健所 4人 計 20人
平成25年 2月12日(火)	・平成24年度事業及び決算報告について ・平成25年度事業計画について	保健協力員 8人 市町村担当者 7人 保健所 4人 計 19人

(2) 管内市町村保健協力員設置状況

(平成24年4月現在)

市町村名	名称	総人数	任期・組織	担当部局
弘前市	保健衛生委員	585人	なし・町会連合会保健 衛生委員会	町会連合会事務局
黒石市	保健協力員	223人	2年・なし	健康推進課
平川市	保健協力員	193人	2年・保健協力員会	健康推進課
西目屋村	保健協力員	21人	2年・保健協力員会	住民課
藤崎町	健康推進員	126人	2年・健康推進員会	福祉課
大鱈町	保健協力員	60人	2年・保健協力員会	保健福祉課
田舎館村	保健協力員	61人	2年・保健協力員会	厚生課
板柳町	保健衛生協力委員	90人	2年・なし	健康福祉課
	計	1,359人		